

そが 素鷲地区

面積：2.23km²
人口：19,107人（高齢化率29.3%）
世帯数：11,305世帯

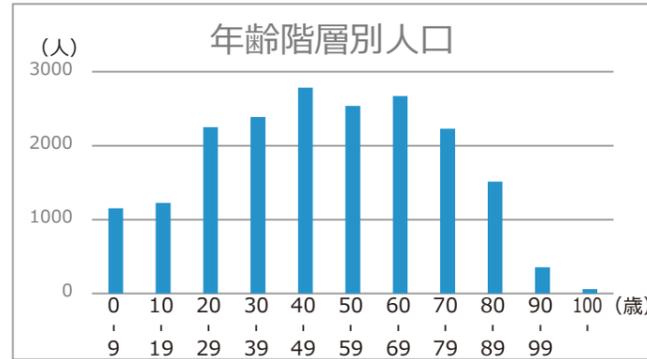


【地区の特色】

戦前は純農村地域であったが、近年市街地に隣接する地域として急激に住宅化が進み、通勤にも便利なためマンション等の建設も多く都市化が進んでいる。しかし、現在はそれ以上のドーナツ化現象のため、高齢化率も高くなり人口は横ばい状態となっている。そういう中において、地域住民間の連帯感が薄れつつあり、近隣間のコミュニケーションがスムーズにいかない地域が増えるなど新たな問題が顕在化し、昔からの地域事情に若干の変化も見えてきている。



ドローン撮影：拓南中の全景



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的便利で市内外へも行きやすい ・市内の大きな病院を含め個人病院へも通いやすい ・高齢者の施設も多い ・教育関連機関や生活関連施設が多い ・公共交通の便がよく住みやすい ・民生・児童委員や公民館関係の方などみなさん協力的 ・地区社協の拠点がある ・若い世代の後継者が育っている ・商店街がある ・地区行事へ協力的で楽しい行事がある（どろんこ運動会） ・病院の中に集まれる場所がある ・登校時小中学生の見守り隊 旗当番（保護者）
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者世帯が多い ・空き家が増えている ・マンション住民との交流が少ない ・仕事など忙しく地域の手伝い等してくれる人の人材不足 ・役員代表者お世話人さん等の後継者が少ない ・道路が狭い（消防車、救急車が入れない） ・高齢者世帯が多い ・子どもの数が減っている
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯の増加 ・マンションが多く、把握と見守りが難しい ・空き家の増加 ・組織役員の後継者不足 ・子どもがいる世帯が増えない

素鷲地区社会福祉協議会

石手川 南に広がる そが福祉

<拠点> 松山市小坂3丁目1-20 TEL / FAX : 089-931-2112

構成団体	地区民協・町内会連合会・共同募金会・公民館・サロン代表者・高齢クラブ連合会
主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年2回、7,800部を作成し、地域福祉に関する情報を発信するために全戸配布しています。
そがの子まつり	小学生・児童・保護者・教員・地域住民等がもちつきなどの行事を通じて交流を図っています。
認知症への理解	小中学生を対象に、絵本の読み聞かせや認知症理解のための寸劇を通じて認知症についての理解向上を図っています。

福祉講座（10月頃）

福祉課題の中でテーマを変えながら地域住民を対象に福祉講座を開催しています。毎年、分かりやすい内容を提供していることから多くの地域住民の参加があり、好評をいただいています。



<地区社協が目指すもの>

素鷲地区は、2万人近くの人口となり高齢者が多く、特に独居高齢者や生活保護受給者は松山市で一番多くなっています。交通の便が良く買物や病院等へ通いやすく、生活関連施設等が多く住みやすく安心できる地区です。毎年、拓南中学校にて松山市消防城東支署の協力を仰ぎながら生徒と一緒に炊き出し、AED体験、ドローンによる撮影、マップ作りなどの防災活動訓練を行っており、地区全体として防災関係に力を入れています。また、現在設立準備中のまちづくり協議会や他団体と連携しながら少しでもあたたかさを感じられる地域づくりを目指します。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	48名 3名	■町内会・自治会・区長会等	45団体
	■まち協の設立	-	■高齢クラブ ■子ども会 ■自主防災組織	10クラブ 13団体 29組織

独居高齢者が市内で最も多いこともあり、民生・児童委員をはじめとする多様な福祉活動が求められる地区です。そのような状況に対応できているのは各関係団体の協力体制が確立しているからです。小中学生等を対象に地区社協メンバーが役者となって認知症の理解のための寸劇を行うなど、若い世代の後継者作りにも力を入れています。スプロール化という課題をかかえながらも住民の地区行事への協力が高いことや、地域活動に若い世代も入ってきているなど、地域力の強さが引き継がれていると考えられます。そがの子まつり、福祉講座など地域のつながりや福祉教育を重視した地区社協の活動は、今後さらに進む都市化や高齢者人口増加などに対する重要な予防活動として期待されるでしょう。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区

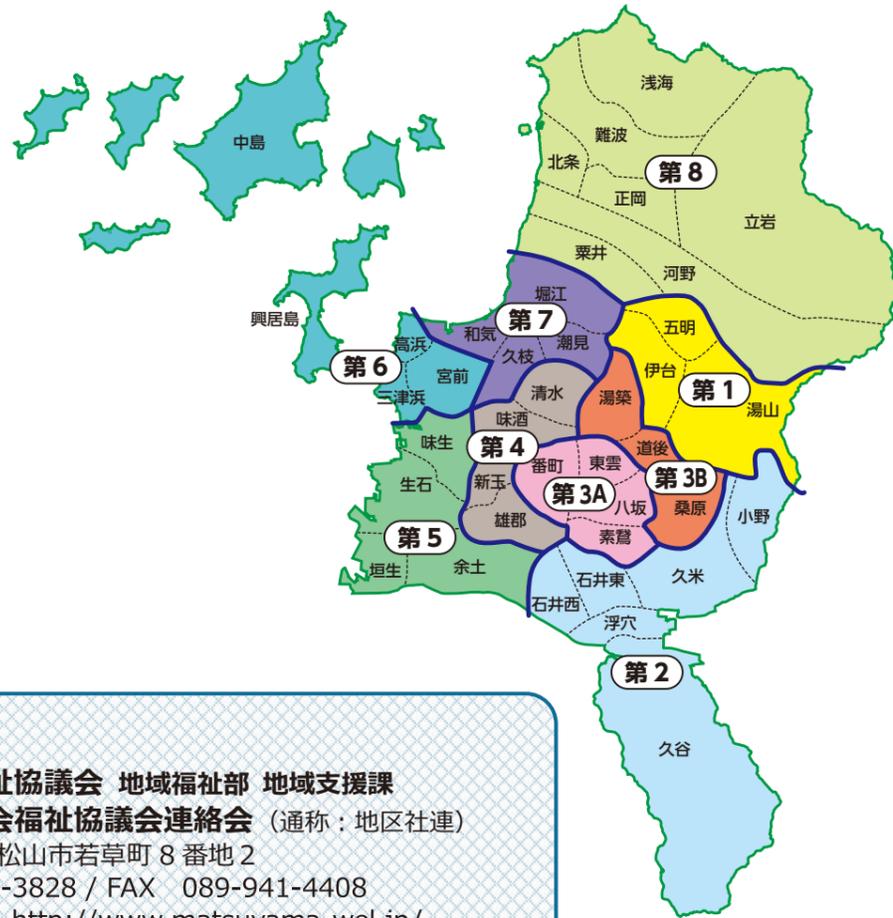
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏